

若竹

※※※ 第八十号 ※※※



愛媛県神道青年会再発足五十周年記念祝賀会

愛媛県神道青年会

事務局 〒793-8555

愛媛県西条市西田甲797 石鎚神社 内

TEL 0897-55-4044 FAX 0897-55-7242

URL <https://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

検索



巻頭言 新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 野口 貴令



先ず以て、聖寿の万歳と皇室の弥栄を御祝い申し上げますと共に、各御社頭の御隆昌を御祈念致します。

常日頃より愛媛県神道青年会に対しまして格別なる御理解御協力を頂いております事、衷心より厚く御礼申し上げます。

此度、田窪前会長より指名され、過日の臨時総会にて承認を頂き会長に就任致しました。

前期には再発足より五十年という節目を迎え、諸先輩方の築き上げてきたものの重みを再認識し責務の重さを感じている所で御座います。

思い返せば大学卒業後、松山に帰った十数年前から神道青年会より度々総会や各種研修会の御案内を頂いております。

折角御案内を頂いたもので総会に出席したのですが、右も左も分からず雰囲気呑まれ、当時はアルコールも弱かったものから、懇親会も出席せず自分とは縁遠い世界だと思っていたのを未だに覚えております。

その後もツチノコよりは度々顔を出しておったかと思いますが、ある時理事をやってみないかと誘われまして、十年熟成したペーパードライバーの免許を持って南予の役員会場へと向かったのが私の青年会活動への積極的な参加の始まりでした。

それが今では一応ドライブが趣味と公言しており、今度は青年会の会長職を仰せつかる事になっておりますので、何がきっかけでどう転ぶか分からないぞと自分でも思っております。

今期は、新型コロナウイルス感染症の五類引き下げもあり、今までであった様々な制限が撤廃されました。

しかしながら、感染症の脅威が完全に無くなったわけではありません。

現に、引き下げから六月頭までの僅かな期間で、感染者数は二倍以上増えていると聞いております。

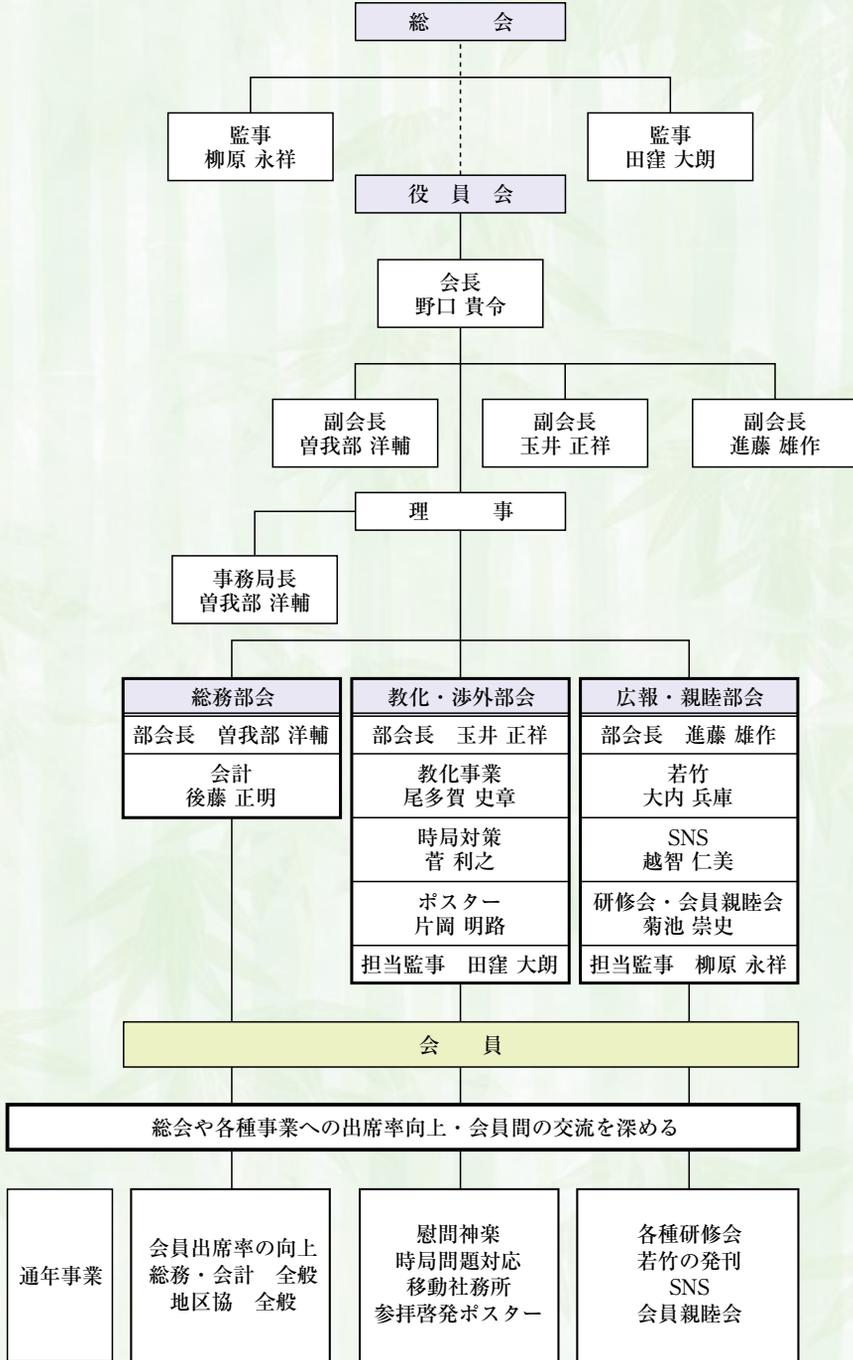
しかしながら、感染症対策に留意しつつも一つの節目と捉え従来の事業の継承だけでは無く、青年会の若さを生かし活動的に県内外での事業を行えればと思っております。

青年会の活動に求められているのは何かを今一度考え、時局に対しての即応性を持ちつつ各事業を通じての会員相互の親睦や自己研鑽に努め、斯界の益々の興隆の一助となるよう努めてまいりたいと思っております。

何分浅学非才の身で御座いますので、先輩諸兄はじめ各神社宮司様方より御指導・御鞭撻を賜りますようお願い致します。巻頭の御挨拶とさせて頂きます。一期二年、何卒宜しく御願ひ申し上げます。

2年間宜しく御願ひ致します。

令和5年度～令和6年度 愛媛県神道青年会 組織図



次ページは新役員の紹介です。

令和5・6年度 愛媛県神道青年会 役員紹介

新 40歳までの限られた時間を共に充実させましょう!

新 今期より理事となりました。職務を全うできるよう頑張ります。

新 若輩の身では御座いますが、粉骨砕身頑張りますので御指導、御鞭撻の程宜しくお願い致します。

新 兼業ですが楽しみながら頑張ります

新 ええじゃないかと愛媛から宜しくお願いします。

新 明るく楽しく元気よくやりましょう。

新 初めての理事、会計、全国では神宮啓発委員を仰せつかりました。このご縁を大切にしたいと存じます。お役に立てるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

新 二期目となりましたが、たくさんの会員が集まれるように頑張りたいです。

新 気付けば古参に。新しい風に追い越されないよう、精進して参ります。

新 初の女性理事という事で、女性目線での意見をだしていきたいなと思っております。よろしくお願い致します。

新 今の自分にできることを考え、行動し続けられるよう努めます。

新 今期から初理事となりました。至らぬ点も多々あるかと思いますがよろしくお願い致します。

新 温故知新

新 理事 **柳原 永祥**
やなぎはら えいしょう
厳島神社/禰宜

新 理事 **大内 兵庫**
おおうち ひょうこ
天満神社/禰宜

新 会長 **野口 貴令**
のぐち たかはる
伊佐爾波神社/禰宜

新 副会長 **玉井 正祥**
たま い まさよし
日招八幡大神社/禰宜

新 理事 **尾多賀 史章****新**
おたが ひろあき
愛媛県護国神社/権禰宜

新 監事 **田窪 大朗**
た く ぼ ともあき
吹揚神社/宮司

新 理事 **越智 仁美**
お ち ひ と み
石岡神社/禰宜

新 理事 **管 利之**
か ん と し ゆ き
網敷天満神社/宮司

新 理事 **後藤 正明**
こ ぶ とう まさあき
高忍日賣神社/権禰宜

新 理事 **菊池 崇史**
き く ち た か し
八幡神社/禰宜

新 副会長 **進藤 雄作**
しん とう ゆう さ く
野坂神社/宮司

新 理事 **片岡 明路**
か た お か あ き み ち
石鎚神社/権禰宜

新 副会長 **曾我部 洋輔**
そ が べ よ う す け
石鎚神社/権禰宜

今期は5人が新役員となります。宜しくお願いします。

新年研修会



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
松山市 愛媛県護國神社
権欄宜 尾多賀 史章

去る一月二十七日(金)松山市御幸 愛媛県護國神社に於いて正式参拝の後、令和五年の臨時総会並びに新年研修会が行われました。

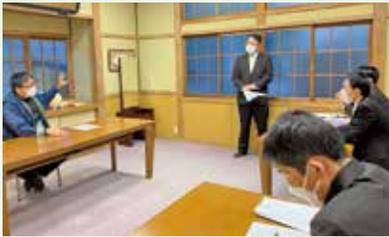
今回の研修は松永社寺建築株式会社(代表取締役)松永淳先生をお招きし「社殿護持「これからの神社のために」」を題材に講演して頂きました。

その中で、三つの大きな損失原因としてまず火気、次に屋根の水、それから床下の湿気を挙げられました。

屋根の雨漏りかと思っても小動物の糞尿である場合も多いと言われており、その為に社殿並びに建物の天井裏へ上がるルートを予め知っておく必要があると教えて頂きました。私の奉職しているお社でもご本殿並びに屋根裏へ小動物の侵入があります。その都度に嫌悪臭のする砂やトゲトゲマット、木戸への楔打ちなどの対策をし

ておりますが悩ましいのが現状です。又、松永先生は樋の詰まり(枯れ葉や小枝)が原因で雨漏りになる場合が少なくないの、台風の後や落ち葉の季節は要確認と言われていました。三つの大きな損失原因を意識し、日々のご奉仕をしていくことで異常早期発見から社殿護持へ繋げていけると学びました。

最後にコロナ禍の日本政府による規制緩和が進む中で、人が集まっただけの活動が再開されております。そこで今回の様に、人と人が直接顔を合わせて話し合うことで出て来る意見や気づきは沢山あると感じます。私見ですが、コロナ禍前では当たり前だと気が付かなかった人と人との繋がりやの尊さを再確認できる好機ではないかと考えております。



社殿護持に努めて参ります。

第二十二回 慰問神楽
西条市立橋小学校



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
西条市 石鎚神社
権禰宜 片岡 明路

去る令和五年二月十四日、西条市西泉の橋小学校にて慰問神楽を開催させていただきました。



今回で第二十二回となる慰問神楽ですが、橋小学校にて音楽の授業の一環として五・六年生の児童を対象に実施を致しました。

まず、柳原監事による挨拶と雅楽の歴史や楽器の説明を行いました。

次に実際に楽器を使って越天楽、陪臚の演奏を行いました。児童たちにとっては雅楽を生の演奏で聞くというのは殆どが初めての体験だという事で、熱心に耳を傾けている姿が大変印象に残りました。

その後は、楽器体験の時間を設けて児童たちにも実際に演奏をしてもらいました。普段の生活では経験することができないということもあってか進んで挙手していた子どもたちが多く見受けられました。特に鞆鼓、吊胴、鉦鼓の打楽器が人気だったようで注目が集まり、演奏をしてみた児童たちの顔にも笑顔が溢れていました。その後は、質疑



応答や今回の慰問神楽を体験してからの感想を発表してもらいました。

橋小学校では高学年のクラスで金管楽器を演奏しているそうですが、日頃から楽器に触れていても実際に演奏してみると簡単そうに見えて難しかった、難しかったが普段触れる事が出来ない楽器なので楽しかった、等の感想が発表されました。

今回の慰問神楽の活動を通じて感じたことは、次世代を担っていく子供たちが雅楽や歴史に触れることにより、我々日本人が先人より脈々と紡いできた文化を知り、更に継承していくきっかけの一助になるように今後も精力的にこういった活動に取り組んでいくべきだと改めて思いました。

最後に、今回の慰問神楽開催に当たりご協力頂きました橋小学校中江雅人校長先生を始め諸先生方には改めて御礼申し上げます。



今後も歴史や文化に触れあえる機会を広めていきます。

沖縄県戦没者遺骨収集 事業に参加して



【報告者】
愛媛県神道青年会会員
松山市 正八幡神社
権瀬宜 権名津 幾江

令和五年二月十二日、愛媛県神道青年会再発足五十周年事業である『沖縄県戦没者遺骨収集事業』が、沖縄本島南部の糸満市荒崎海岸に於いて開催されました。活動内容は、特定非営利活動法人JYMA日本青年遺骨収集団様の活動に、当青年会員六名が参加し、沖縄戦の犠牲となった方々の御遺骨を見つけることです。初め、この事業の案内が手元に届いたとき、二泊三日という日程と活動内容の厳しさにためらいもありましたが、戦争について、子供たちに伝えていかなければならないという使命感も強く感じました。恐らく、子供の頃、長崎の祖母から原爆の実体験を、叔父から松山が空襲を受けた日のことを何度



も聞かされたことが、大人になった今もずっと心に残っているからだと思います。わたしも自分の目で見たものを子供たちに残したいと思ひ、事業への参加を決めました。前日の夜に沖縄に到着し、十二日は朝から現地に入りました。JYMAの皆様と自己紹介を交わした後、作業地点へ案内されました。そこは、頭上にガジュマルの地上根が生い茂り、足元にはこの地特有の石灰岩が広がり、自然の荒々しくも美しい光景が広がっていました。到着した作業地点は、今まで行われた調査によると、二柱の御遺骨が地中にあるとされており、今回は更に掘り進め、一片でも多くの御遺骨を見つけることが目標でした。見つかる部位によってはDNA鑑定が可能となり、身元が判明するということを知り、一片も見逃さないようにと気持ちを引き締めました。前日からの雨により、土が粘土になっていたため、掘る作業も、ふるいにかける作業も思うよ



うに進まず、大変な作業になりました。午後四時まで掘り続け、班の皆で幾つかの骨片を集めることができました。ここから何かに繋がっていくことを願います。

今回、JYMAの方々とは活動を共にし、その熱い思いを学ぶことができました。また、今回の活動で見つかった御遺骨の状態から、火炎放射器などが使われていたことを知り、この地に追われた人々を思い胸が痛みました。七十余年後の現代に同じ地を踏み、賛華された英霊たちを思ったこの時間は、忘れられないものとなりました。

翌日、愛媛に帰り、娘に話を聞いてもらいました。小学校六年生の娘は、ちょうど沖縄戦を教科書で学んだばかりだそうで、関心を持ってくれました。教科書にはたった一ページしか書かれていない沖縄の戦争ですが、それ以上のことを伝えられたと思うので、わたしの小さな目標は達成となりました。わたしたち青年は、いろいろな面で、きちんと受け継がなければならない時が来ています。今後このような事業があれば、皆で参加しませんか。



貴重な体験となりますので御参加ください。

令和四年度 神道青年全国協議会 中央研修会(徳島)



【報告者】 愛媛県神道青年会 理事 西条市 石鎚神社 権禰宜 片岡 明路

去る三月八日(九日)の二日間、徳島県徳島市内に於いて令和四年度神道青年全国協議会中央研修会が開催され、全国から約二百三十名の会員が参集し、当会より七名が参加しました。今回は主管を神道青年四国地区協議会とし、徳島県青年神職会が担当で行われ、『想ひ』を繋ぐ受け継がれしものを次の世代へ』を研修会の主題とし、四名の講師の方々にお越しいただきました。第一講は、映画監督として活躍されておられる安藤桃子先生の講演から始まり、『全体的にのちに優しい世界』を演題に講演をいただきました。安藤先生は映画『0.5ミリ』の撮影を機に現在の住まいである高知県に移住され、そこで廃屋となった施設を映画館へと再建し、また地域住民らと協力してイベントを開催し地域活性化を促していただきました。そうした中で人の流れを作り出し、関わる人々の心が一つになり、協同性と笑顔の生まれる優しい世界を目指すことができると仰られ、地域住民との協力は神職界においても不可欠であり、我々も目指すべき社会の在り方であると改めて感じさせていただきました。第二講は、株式会社和える代表取締役の、矢鳥里佳先生より「伝統は『守るべきものな



ニコラス・ペタス先生 山田実先生 矢鳥里佳先生 安藤桃子先生



のかを演題に講演をいただきました。先生は大学生の頃より現在の会社を立ち上げ、日本の伝統工芸品や先人の智慧を次世代に繋ぐ為の事業を展開されており、その中で、現代の日本における伝統・文化の急速な衰退は最早見過ごせるものではなく、それを次世代に繋ぐ為には伝統を守るだけでなく人々が生きたる為の活用方法にしておくべきだと説かれました。伝統・歴史・文化を「守る」から「活かす」ことにより、現代社会に再び誇り高さ「日本」を取り戻すことができるということを知ることができました。第三講は、全国的にも有名な阿波おどりの振興協会理事長を務めておられる山田実先生より「次世代に繋ぐ」を演題に講演をいただきました。先生は幼少期より地元徳島で脈々と受け継がれている伝統芸能阿波おどりを始め、この伝統や先人の思いを絶やすことの無いよう日々努力をされてお

ます。御祖父様が初代連長(チームの長)を務められた天水連の現連長としての使命を全うしようという気概を、先生が仰った言葉の中にひしひしと感じました。ただ伝統を繋いでいくことだけでなく、先人より伝わる魂も共に次世代に繋いでいくことが大切なのだと言葉で主張されました。最後の第四講では、武道家であり元K-1ファイターとしても活躍されていたニコラス・ペタス先生より「折れない心」を演題に講演をいただきました。先生は、空手修行の為に十七歳で来日し、当時の極真会館の大山倍達総裁の指導の下研鑽を積み、空手道を歩んで参られました。その修行の中で、どんなに苦しく困難な状況に陥ってもその苦しみや己の弱さから逃げずに立ち向かうことができ、強く逞しく折れない心を持つことができると仰いました。それは、現代の日本人に必要不可欠な武士道精神なのだと思えます。その強靱な精神を培い鍛え上げていくことは神職の世界でも必須であると考えます。今回の「想ひを繋ぐ」という研修テーマについて振り返ってみますと、繋ぐというのは想いだけでなく、人と人とを繋ぐ、又は御縁を繋ぐ、更には我々神職であれば神と人とを繋ぐ、といったように今回の研修会だけでなく人として生きていく上で永久不変のテーマであることと再認識致しました。その重大さを諸先生方には学ばせていただき大変有意義な時間を過ごさせていただいた事に唯々感謝しかありません。末筆に、今回担当としてご尽力いただきました徳島県青年神職会の皆様を始め、関係各位に御礼申し上げます。



様々なものを繋ぐ存在として尽力します。

愛媛県神道青年会再発足五十周年 記念式典・記念講演・祝賀会



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
松山市 多賀神社
榎 宜 中西 由大

令和五年四月十九日ANAクラウンプラザホテル松山に於いて愛媛県神道青年会再発足五十周年記念式典、記念講演、祝賀会が愛媛県神社庁長三輪田泰生様をはじめ、愛媛県神道青年会OB、神道青年全国協議会、青年神職会、神道青年会、県内外大勢のご来賓の皆様をお迎えし、盛大に開催されました。

午後四時三十分、井上雅仁副会長による開式の辞により式典が始まり、神宮遙拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和に続いて、田窪大朗会長による式辞を頂戴致しました。続いて、曾我部副会長から記念事業報告として、移動社務所実証事業、再発足五十周年奉告祭、沖縄県戦没者遺骨収集事業、本日(の)記念式典、記念講演、六月の記念冊子について報告なされました。続いてご来賓の皆様のご紹介があり、ご来賓を代表して、愛媛県神社庁長三輪田泰生様、神道青年全国協議会副会長大鳥居良人様よりご祝辞を頂戴致しました。ご祝辞を聞き、より一層神明奉仕に努め、先輩方が作り上げ

た伝統ある神道青年会を守り、発展させていこうと現在の会員諸兄は、改めて強くしたことと存じます。

その後、頂戴した祝電を披露申し上げ、「神道青年の歌」「美はしき山河」を斉唱し、柳原永祥監事の先導により聖寿万歳が奉唱され、最後に、玉井正祥副会長が閉式の辞を申し述べ、式典は終了しました。

引き続き、午後五時三十分より神社巡拝家佐々木優太先生による記念講演「参拝ナビゲーション」その先にある幸せ」が開催されました。

佐々木優太先生は、十二年間で全国一万社の神社を参拝なされ、四千二百の御朱印を拝受されたそうです。なお、「神社ソムリエのあやかりチャンネル」というYouTubeチャンネルも開設しており、Instagramに



講師 佐々木優太先生

も参拝された神社の紹介をさせていただきます。

佐々木優太先生の講演では、世間での神社に対する認識の現状、原因、問題点、行動、目指すところの五項目でお話頂きました。現状では、「一般の方は神社をサービス業だと思っている。原因として、神社神道の素晴らしさ故にこのようになってきているのだと言われております。素晴らしいところは、教義・経典がないところ、全国どこにでもあるところ等で、故に、認識が西洋的な神様になってしまったり、パワースポットになってしまったりしているということです。また、それを誰も説明しないことが原因になっているのではと考えられております。問題点として、神社界が知っている神社と一般人が見ている神社が違うということです。行動では、「認識が違う人たちにどれだけ広報活動しても差は開くばかりである。」一般の方は、初穂料を対価として支払っている。現状からの行動としてこのようになっていくそうです。

御成敗式目第一条に書かれている「神は人の敬に依りて威を増し人は神の徳に依りて運を添ふ」神様を敬う人の純粋な真心にふれ神様の御威光はさらに輝きを増し神様の広き厚き御神徳の御加護で人は導かれ運を開く。神様と人とは一方通行ではなくお互いがお互いを高めあう存在である。この言葉を大切にしていってほしい。

社は心のジム」日頃からの積み重ねが大切であると考えられております。そして、佐々木優太先生のこだわりとして、神主さんが毎日掃除をしたり拝礼をしたり神社を守ってくれているから十二年間で全国一万社の神社を参拝することができたので、自分が儲かるよりも神社が良くなるようにすることがこだわりだそうです。

佐々木優太先生の講演で、一般の方の意見や考え方や現状等、普段聞くことのできないことを聞くことができ、会場にいた皆様も真剣な眼差しで講演を聞き、今後の社務に活かすことのできる大変貴重な講演だったと存じます。

続いて、午後七時より記念式典とは打って変わって和やかな雰囲気祝賀会が開催されました。祝賀会では、野口貴令会長の挨拶に続いて、ご来賓の皆様を紹介がありました。ご来賓の皆様を代表されまして、愛媛県神社庁顧問長曾我部延昭様よりご辞書を頂戴致しました。そして、ご出席頂きました歴史代の会長皆様そろっての鏡開き、愛媛県神社庁顧問柳原宰様のご発声で乾杯し、再発足五十周年をお祝いしました。

祝賀会は終始和やかな雰囲気が進み、余興では酒、ミカンジュースの味利きや、砥部焼の目利き、和紙の目利き、三折クイズ等を行い、大変賑わいまして皆様に楽しんで頂いたことと存じます。そして、ご来賓の皆様、会員でにぎやかな交歓が行われた後、午後九時より愛媛県神社庁理事武智正人様の手締めにより祝賀会は無事終了致しました。

今回再発足五十周年の節目に立ち会えます



式典

したことで、代々受け継がれてきた愛媛県神道青年会の想い、諸活動の実績を再認識できたことと存じます。次の五十五周年へと繋がる素晴らしい式典になりましたこと



祝賀会

心より感謝申し上げます。その後も、当会の想いが守り伝えられ、愛媛県神道青年会のみならずの発展を祈念致しましてご報告とさせていただきます。

50周年の節目にふさわしい式典となりました。

神道青年全国協議会 第七十四回定例総会



【報告者】
愛媛県神道青年会 監事
今治市 吹揚神社
宮司 田窪 大朗

神道青年全国協議会の第七十四回定例総会が四月二十七日(木)に神社本庁大講堂に於いて開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨今の総会は、現地開催とウエブによるハイブリッド方式を採用していましたが、今回は「五類感染症」になりつつある世情もあり、コロナ禍前と同様の現地参集開催でした。全国各単位会から多数の代議員が集い、愛媛からは野口会長と私が欠席の事務局長代理として参加させて頂きました。今総会は、昨年の臨時総会で決議



をされた次期会長・監事以外を除く、副会長・地区理事・指名理事の承認を得ると同時に、副会長には当会から柳原監事が選出され、二年間大鳥居会長期の重責を担うこととなりました。

併せて、前期の会務報告と決算並びに今期の活動計画案と予算案の審議や、更には定例表彰や令和四年度中央研修会開催にあたり徳島県青年神職会への感謝状贈呈も実施されました。

その定例表彰にて、当会が五十周年事業で行った移動社務所実証事業を表彰対象にエントリーしたところ、この度「周年事業賞」に選ばれました。

総会後はコロナ禍で中止されていた全国各単位会や神青協OBが集う菊波の友垣会が明治記念館で久しぶりに開催され、懇親を深めました。

「五類感染症」となりコロナ禍前にはほぼ近い事業が今後展開されることが予想されるので、当会のみならず、全国の事業についても御理解賜れば幸いです。



周年事業賞受賞 (左から2番目)



コロナによる閉塞感を打ち破れるように頑張ります。

神道青年全国協議会 副会長 就任挨拶



【報告者】
愛媛県神道青年会 監事
松山市 巖島神社
欄 宜 柳原 永祥

この度、神道青年全国協議会(以下「神青協」といふ)第七十四回定例総会にて新役員が決議され、副会長として就任することとなりました。重責を担う大役を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。これも今までご指導ご鞭撻いただき、支えていただいている皆様のお蔭と心より感謝しております。

調べてみたところ愛媛県から全国の副会長に就任するのは私で三人目、平成二十一年度の長曾我部昭一郎先輩以来十四年ぶりです。今年の三月に行われた徳島県での中央研修が終わった際に四国地区会員の前にて、お伝えした内容と重なりますが、来年令和六年度にて七十五周年を迎える神青協の歴史の中で、四国の役員の発言は軽視されている時代があったそうです。それを愛媛の先輩方が中心となり高めていた

き、重要視されるようになり今のよう四国の役員も神青協三役(会長・副会長・監事)に入るまでになったと漏れ聞いております。前期の猪熊兼高監事(香川県)から四国地区として初めて三役を引き継ぐこともでき、これもご活躍された四国の先輩方、ご理解ご協力いただいている各お社があつてこそと、重ねて御礼申し上げます。
末尾になります。微力ながら斯界が良き方向に進んでいくように尽くして参りますので、これからも何卒宜しくお願い致します。また、神青協の事業は全国から役員が集い、議論を重ねて展開してまいります。愛媛からも多くの皆様に参加していただければ励みになりますので、宜しくお願い申し上げます。



神道青年全国協議会
インスタグラム



神道青年全国協議会
フェイスブック



神道青年全国協議会
ホームページ



愛媛県神道青年会の陣頭に立って尽力されています。

神道青年会四国地区協議会 第二十九回定例総会 研修会



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
今治市 網敷天満神社
宮 司 菅 利之

梅雨入りが報道されながらも晴天覗く良き日、去る六月十二日に今治国際ホテルにて神道青年会四国地区協議会第二十九回定例総会及研修会が執り行われました。本会は愛媛県神社庁三輪田庁長をはじめ、多くの来賓をお迎えし執り行われました。感染症流行下より改善が見られ、多くの事象が緩和されていた中行われた本会は、参加者間の距離、マスクの着用案内などもされず、国歌斉唱等も発声して行うなど、流行前に近い状況



開 講 式



総 会

態での開催となり、開講式祝辞の中でもその喜びに触れられておりました。定例総会については会務報告、活動計画、単体会報告、定例総会決議などが恙なく執り行われました。研修会では演題を「信仰と歴史の礎を探る」と題し、一講目は『石鎚本教六十年誌』『千三百年誌』の編纂に携わった石鎚神社欄宜曾我部 英司先生、二講目は今治文化振興会職員で今治城主任学芸員である藤本 誉博先生より貴重なお話を賜りま

した。様々な要因で神社や歴史より人が離れ行く中、一人でも多く訪れてもらうには、興味を持ちその希少性への理解を持つってもらうにはといったことを考えさせられる興味深い時間となりました。また、終了後に行われた懇親会では文字通りひざを突き合わせ、今後の活動への制限緩和など前向きな話し合いがなされました。制限されていた分も会の活動がより活性化されていくよう、その一助となれるべく精進してまいりたいと思います。



研 修 会



懇 親 会

神社や歴史の魅力を発信していきましょう。

趣味人

第十五回

～神青会員のオフタイム～



愛媛県神道青年会会員
松山市 勝岡八幡神社
権禰宜 武智 正訓さん

私の趣味は、三年前に始めたキャンプです。キャンプを紹介するテレビ番組を見たことで、小学校の宿泊研修での楽しかった飯盒炊飯の記憶が蘇り、「もう一度外でご飯を作って食べたい」という気持ちでキャンプを始めました。

始めた頃は、すぐに飽きるかもしれないと思っていたので、最低限の道具だけを買って、日帰りで行うデイキャンプから入りました。最初の数回は、外でご飯を作って食べられることが新鮮で、それだけで充分満足できていました。しかし、段々と「星を見ながら焚火をしたい」とか「朝日を見ながらホットサンドを食べたい」といった気持ちが生じたため、テントなどを買って泊まりでキャンプするようになってきました。今度は「道具の色に統一感をもたせたい」とか「より機能性の高い道具が欲しい」

など、次から次へと欲求が湧き出てくるようになりました。

このように趣味にどっぷり浸かってしまっていますが、私は「キャンプ沼」にハマってしまっています。バイクや自転車、釣り、カメラのレンズなどを趣味としている人にも多いようですが、興味のない人から見ると同じように見える道具でも、ハマっている人は、状況によって何種類かの道具を使い分けたくるので、どんどん道具が増えて



いきます。私は、最近反省しまして、無駄遣いし過ぎないように気を付けています。

私にとつてのキャンプの一番の魅力は、食べ物や飲み物をより一層美味しくいただけることです。大自然とお気に入りの道具に囲まれて食べる料理や、焚火で沸かしたお湯で作るコーヒ―は、不思議と普段より遥かに美味しく感じます。自分の中では三ツ星レストランで食べている気分ですね。行ったことはありませんが(笑)。

また、誰とでも一緒に楽しめるのもキャンプの魅力だと思っています。私は、キャンプ以外にも野球や温泉巡りが好きですが、どちらも好き嫌いが分かれます。でも、どんなに仲の良い友達でも一緒に楽しめることも多いです。しかし、キャンプは一緒に楽しめる層が広いので、家族や友人、教員をしていた頃の同僚など様々な人と行っています。皆様もぜひ一緒にいかがでしょうか? 会員の方と焚火を囲んでお話しさせて頂くのとか素敵じゃないかと勝手に想像しております(笑)。

青年会の活動や研修等と一緒にさせて頂く機会があります。ぜひお声掛け下さい。

《取材：大内 兵庫》



趣味をきっかけとした繋がりは素晴らしいです。

令和四年度 助成寄付御芳名

※順不同にて掲載させて頂いております

御助成

金 貳拾萬圓也

愛媛県神社庁 殿

御寄付

【東予】

金 壹拾萬圓也

石鎚神社

武智 正人 殿

金 伍萬圓也

大山祇神社

三島 安詔 殿

金 參萬圓也

一宮神社

矢野 有紀 殿

神社庁

金 壹萬伍仟圓也

石岡神社

新居 支部 殿

金 壹萬圓也

磐座八幡大神社

越智 基晃 殿

熊野三所神社

嘉母神社

藤原 修次 殿

三島神社

村山神社

熊本 和仁 殿

三嶋神社

高浜八幡神社

石川 雅司郎 殿

周敷神社

井上 初美 殿

須賀神社

原八幡大神社

玉生八幡神社

三嶋神社

八幡神社

潮早神社

土居神社

別宮大山祇神社

大西神社

熊野神社

網敷天満神社

綾延神社

大島八幡神社

矢矧神社

諸山積大明神社

姫坂神社

大井八幡大神社

金 伍仟圓也

八幡大神社

奈良原神社

金生八幡宮

銚前神社

生名八幡神社

保内八幡神社

橘八幡大神社

荒木八幡大神

石土神社

徳威神社

藤原 豁博 殿

矢野 敬陽 殿

平田 彰 殿

堀川 泰規 殿

福田 友徳 殿

浅海 宜英 殿

矢野 一雄 殿

高田 康成 殿

及川 徹也 殿

田邊 捷 殿

菅 利之 殿

森 正康 殿

矢野 秀綱 殿

田窪 伸吉 殿

藤原 正直 殿

垂水 晋介 殿

櫛部 浄文 殿

安藤 史典 殿

竹之内紀久江 殿

合田 正士 殿

矢野 哲夫 殿

吉田 浩喜 殿

中島佳代子 殿

馬越 將文 殿

松本 恒夫 殿

長 敏康 殿

桐野 正信 殿

宮内神社

千足神社

石清水八幡神社

濱上神社

鶴岡八幡神社

瀧神社

金 參仟圓也

八幡神社

金 壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

金 參萬貳仟圓也

神社庁

金 貳萬圓也

神社庁

日招八幡大神社

嚴島神社

金 壹萬圓也

三嶋大明神社

桑原八幡神社

雄郡神社

忽那島八幡宮

浮嶋神社

勝岡八幡神社

金刀比羅神社

高繩神社

高忍日賣神社

真鍋 淑江 殿

烏谷 康恵 殿

芥川 亮 殿

正岡 剛三 殿

矢野 裕房 殿

近藤 晃司 殿

竹内 啓 殿

長曾我部昭一郎 殿

伊予 支部 殿

松山 支部 殿

玉井 正保 殿

柳原 宰 殿

大内 正人 殿

石丸 剛司 殿

高市 誠司 殿

大宮 信篤 殿

相原 宗正 殿

武智 国史 殿

山下 幸志 殿

正岡 重則 殿

後藤 正宜 殿

波賀部神社	武智 彰宏 殿
國津比古命神社	井上 忠史 殿
金刀比羅神社	大谷 伸二 殿
伊豫稻荷神社	星野 暢廣 殿
三島神社	高市 誠 殿
生石八幡神社	中西 祐司 殿
八幡神社	小野 哲也 殿
還熊八幡神社	玉井 次明 殿
伊佐爾波神社	野口 光比古 殿
湊三嶋大明神社	渡部 定詔 殿
井手神社	横田 朱美 殿
東雲神社	田内 逸知 殿
日尾八幡神社	三輪田 純 殿
客王神社	二神 良昌 殿
船川神社	武智 宣往 殿
金、伍阡圓也	
德威三嶋宮	別府 頼房 殿
天満神社	武智 成保 殿
阿沼美神社	大内 將通 殿
諸山積神社	武智 佳子 殿
三島神社	権名津 隆 殿
三島神社	芥川 幹 殿
三島神社	高市 俊次 殿
三島神社	渡邊 一 殿
櫛玉比賣命神社	井上 真人 殿
伊曾能神社	武市 盛幸 殿
八幡神社	桑原 浅雄 殿
正八幡神社	権名津 卓久 殿

三島神社	玉井 貞臣 殿
素鷲神社	水地 明彦 殿
高家八幡神社	都子野 清明 殿
三島神社	武智 仁志 殿
五柱神社	森 東洋司 殿
朝日八幡神社	田内 一弘 殿
金、貳阡圓也	
天満神社	新藤 昭重 殿
【南予】	
金、七萬圓也	
和靈神社	三輪田 泰生 殿
金、參萬圓也	
八幡神社	常磐井 守道 殿
神社庁	宇和 支部 殿
金、貳萬圓也	
八幡神社	常磐井 守興 殿
神社庁	八西支部八幡浜分会 殿
金、壹萬圓也	
三島神社	神岡 道明 殿
八幡神社	阿部 康茂 殿
総社大明神社	森本 隆夫 殿
三島神社	吉田 充邦 殿
三嶋神社	和氣 利雄 殿
神社庁	南宇和郡支部 殿
三島神社	一宮 康人 殿
三柱神社	梅川 俊一 殿
黄幡神社	青木 武司 殿

天満神社	岡本 荒侍 殿
金、伍阡圓也	
満穂神社	岡本 二郎 殿
太郎大明神社	佐々木 文雄 殿
宇都宮神社	伊達 享朝 殿
三島神社	入江 伸明 殿
由良神社	赤松 千明 殿
賀茂神社	上甲 一則 殿
三瀧神社	笹岡 隆 殿
八幡神社	菊池 博史 殿
客神社	鎌田 正一郎 殿
広瀬神社	都築 芳憲 殿
八坂神社	都築 芳憲 殿
新田八幡神社	都築 芳憲 殿
総森三島神社	都築 芳憲 殿
岡森神社	寺谷 秀彦 殿
金、參阡圓也	
三島神社	横田 武敏 殿
金、貳阡圓也	
三島神社	横山 和郎 殿
令和三年度	
金、參萬圓也	
神社庁	宇和 支部 殿
御賛同の上御寄付を賜り深謝致します	
会長 田窪 大朗	

青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会を迎えられました方々を御紹介いたします。

大元神社 補宜(元副会長)

井上 雅仁

白王神社 補宜(元理事)

那須 重昭

伊豫豆比古命神社 補宜(元理事)

宮本 僚

石鎚神社 補宜

玉井 安胤

矢矧神社 補宜

田窪 美保

正八幡神社 補宜

権名津幾江

玉生八幡大神社 補宜

武智 義尚

八幡神社 補宜

清家 登世

長年に亘り当会の諸活動に御尽力賜りまして誠にありがとうございます。今後も尚一層の御指導と御鞭撻を賜ります様御願ひ申し上げますと共に益々の御活躍を御祈念申し上げます。

新入会員紹介

大山祇神社 権補宜

工藤 淑高

新しく神職として入会された方です。一緒に愛媛県神道青年会を盛り上げていきましよう!!



愛媛県神道青年会

第五十二回定時総会並びに懇親会

【日 程】 令和五年八月九日(水・仏滅)

【時 間】 定時総会 十七時

懇親会 十八時三十分

【会 場】 リジエール松山

【所在地】 愛媛県松山市南堀端町二二三 JA愛媛八階

令和五年度 神道青年全国協議会

夏期セミナー

【主 題】 不易流行

【期 日】 令和五年八月二十二日(火・先勝)

八月二十三日(水・友引)

【会 場】 神社本庁二階大講堂
【所在地】 東京都渋谷区代々木一-二二

神道青年四国地区協議会

第二十三回神道行法錬成会

【日 程】 令和五年九月五日(火・先負)

【時 間】 十二時十五分

【会 場】 大川上美良布神社

【所在地】 高知県香美市香北町 蓮生野二四三-イ

【持参品】

白衣・白袴・白足袋・白鉢巻・白禪・草履・白タオル・「褌並びに神拝行事の葉」をお持ちの方は御持参ください。筆記用具・その他研修に必要なと思われるもの

神道青年全国協議会

創立七十五周年記念事業

波照間の碑・聖寿奉祝の碑祭典

【日 程】 令和五年九月二十六日(火・先勝)

【時 間】 十三時半斎行

【会 場】 聖寿奉祝の碑

【所在地】 沖縄県八重山郡竹富町字波照間

神道青年四国地区協議会

親睦会並びに顧問会

【日 程】 令和五年十二月四日(月・先勝)

【時 間】 親睦会 十五時

顧問会 十八時三十分

【会 場】 親睦会 藍の館

【所在地】 徳島県板野郡藍住町 徳命字前須西一七二

顧問会 なつめ

【所在地】 徳島県徳島市栄町一丁目三七

【参加費】 親睦会 二千元

顧問会 八千元

この機会に是非御参加ください。